

令和2年6月定例会 総務委員会（事前）

令和2年6月10日（水）

〔委員会の概要 未来創生文化部関係〕

浪越委員長

休憩前に引き続き、委員会を開きます。（15時05分）

これより、未来創生文化部関係の調査を行います。

この際、未来創生文化部関係の所管事務及び6月定例会提出予定議案等について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

なお、理事者各位に申し上げます。

当委員会において、議案等の説明及び報告の際には座ったままでなされますよう、よろしく申し上げます。

【所管事項及び重点事業の説明】（説明資料（所管事務））

【提出予定議案等】（説明資料，説明資料（その2））

- 議案第1号 令和2年度徳島県一般会計補正予算（第2号）
- 議案第2号 令和2年度徳島県一般会計補正予算（第3号）
- 議案第8号 徳島県控除対象特定非営利活動法人の指定の手続等に関する条例の一部改正について
- 議案第9号 徳島県安心こども基金条例の一部改正について
- 報告第1号 令和元年度徳島県継続費繰越計算書について
- 報告第2号 令和元年度徳島県繰越明許費繰越計算書について

【報告事項】

- 「共生社会ホストタウン」の登録について（資料1）
- 徳島県立男女共同参画交流センターにおけるネーミング・ライセンス制度パートナー企業の決定について（資料2）
- 保育所等入所待機児童数（速報値）について（資料3）

板東未来創生文化部長

それでは、お手元にお配りしております総務委員会説明資料（所管事務）によりまして、未来創生文化部の所管事務を御説明申し上げます。

説明資料の1ページをお開きください。

最初に、令和2年度未来創生文化部の組織機構の概要につきましては、1ページ及び2ページの組織図に記載のとおり、1局，8課，1課内室，3センターの体制となっております。

続きまして、3ページを御覧ください。

令和2年度の歳入歳出予算でございます。

一般会計当初予算の総額につきましては、表の左から2番目、2年度当初予算額欄の最

下段に記載のとおり、180億5,273万4,000円となっております。

4ページをお開きください。

続きまして、特別会計でございます。

次世代育成・青少年課所管の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計におきまして3億385万円を計上しております。

5ページを御覧ください。

継続費の状況でございます。

文化の森振興センター所管の県立博物館新常設展構築事業につきまして、総額欄に記載のとおり12億円の継続費を設定しております。

続きまして、繰越明許費の状況でございます。

繰越明許費につきましては、男女参画・人権課及び次世代育成・青少年課におきまして、総額2,686万8,000円の繰越枠を御承認いただいております。

6ページをお開きください。

債務負担行為の状況でございます。

国際スポーツ大会課所管のカヌースラロームコース設営撤去工事請負契約につきまして、限度額500万円を設定しております。

7ページをお開きください。

次に重点事業でございますが、7ページから9ページに記載のとおり13項目の事業を掲げており、詳細につきましては、それぞれ課長等から御説明いたしますのでよろしく願いいたします。

阿部未来創生政策課長

未来創生政策課の所管事務につきまして、お手元の委員会説明資料に基づきまして御説明させていただきます。

資料の12ページをお開きください。

未来創生政策課の組織図でございます。

未来創生政策課は、総務担当、政策調整担当、共助社会推進担当で構成されており、職員数は兼務職員等も含めまして16名でございます。

当課の事務分掌についてであります。13ページに記載のとおりでございます。

14ページをお開きください。

令和2年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は25億5,534万1,000円で、前年度当初予算額に比べ2億1,891万1,000円、9.4パーセントの増となっております。

当課の重点事業についてでございます。

(1) 部内総合調整事務につきましては、未来創生文化部における政策評価、予算編成事務をはじめとした各種施策の調整を主に行っております。

(2) 県民との協働事業の推進では、県民の参加と協働による地域づくりを実現するため、NPO等、県民の自主的、自立的な社会貢献活動を促進する各種支援事業等を行い、県民との協働事業の一層の推進を図ってまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

大岡ダイバーシティ推進課長

ダイバーシティ推進課の所管事務につきまして、お手元の委員会説明資料に基づきまして、御説明申し上げます。

資料の18ページをお開きください。

ダイバーシティ推進課の組織図でございます。

ダイバーシティ推進課は、高齢者・障がい者活躍担当、国際交流・旅券担当で構成されており、職員数は派遣職員も含めまして14名でございます。

当課の事務分掌についてであります。19ページに記載のとおりでございます。

20ページをお開きください。

令和2年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は4億5,311万5,000円で、前年度当初予算額に比べ6,939万8,000円、18.1パーセントの増となっております。

当課の重点事業についてであります。

(1) アクティブ・シニアの活躍推進といたしまして、高齢者の生きがい等を支援するため学びの場を創出し学習内容の充実を図るとともに、地域活動等の担い手として活躍する生きがいづくり推進員をはじめアクティブ・シニアによる活動の活性化を図ってまいります。

(2) 障がい者のスポーツ・文化芸術活動の推進では、障がい者スポーツの振興を図るため、スポーツを通じた障がいのある人とない人の交流機会の創出を促進するとともに、徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターを中心とした芸術文化活動を推進してまいります。

(3) 国際交流と多文化共生の推進では、グローバル人材の育成や地域の国際化を図るため、ドイツ・ニーダーザクセン州等との相互交流や多文化共生のまちづくり、国際社会に貢献する環境づくりを積極的に推進してまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

飯田男女参画・人権課長

男女参画・人権課の所管事務につきまして、お手元の委員会説明資料に基づきまして、御説明申し上げます。

資料の24ページをお開きください。

男女参画・人権課の組織図でございます。

男女参画・人権課は、人権担当、男女共同参画担当で構成されており、職員数は兼務職員も含めまして12名でございます。

当課の事務分掌についてであります。25ページに記載のとおりでございます。

26ページをお開きください。

令和2年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は7億3,284万9,000円で、前年度当初予算額に比べ1億6,767万

9,000円、29.7パーセントの増となっております。

27ページをお願いいたします。

繰越明許費の状況でございますが、さきの2月定例会におきまして御承認いただいております男女共同参画交流センター運営費につきまして、設計に関する諸条件から今年度に繰り越したものでございます。

当課の重点事業についてであります。

(1) 人権を尊重する社会づくりの推進といたしまして、徳島県人権教育・啓発に関する基本計画に基づき、県民の人権意識の普及高揚を図るとともに、人権教育啓発推進センター、あいぽーと徳島において、県民への研修・啓発事業や相談事業を積極的に行ってまいります。

(2) 男女共同参画社会づくりの推進では、徳島県男女共同参画基本計画に基づき、女性活躍の機運醸成と一層の意識啓発を推進するとともに、男女共同参画の推進拠点であるときわプラザ（男女共同参画交流センター）に女性活躍ワンストップサービスセンター（仮称）を整備してまいります。

さらに、配偶者等からの暴力の根絶を目指し、普及啓発、相談体制・保護体制の充実、自立支援に取り組むとともに、性暴力被害者支援センター、よりそいの樹とくしまを運営し、女性に対するあらゆる暴力防止に関する対策を推進してまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

高島次世代育成・青少年課長

次世代育成・青少年課、中央こども女性相談センター及び徳島学院の所管事務につきまして、御説明申し上げます。

資料の30ページをお開きください。

次世代育成・青少年課の組織図でございます。

次世代育成・青少年課は次世代人材育成担当、若者・青少年育成担当、保育支援担当で構成されております。また、こども未来応援室は、こども未来応援担当で構成されており、職員総数は兼務職員も含めまして30名でございます。

次に、当課の事務分掌についてでございますが、31ページから32ページに記載のとおりでございます。

33ページをお願いいたします。

令和2年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は100億6,860万4,000円で、前年度当初予算額に比べ7億6,168万6,000円、7.0パーセントの減となっております。

34ページをお開きください。

母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計の当初予算額は3億385万円で、前年度当初予算額に比べ2,739万6,000円、約9.9パーセントの増となっております。

35ページをお願いいたします。

繰越明許費の状況でございますが、さきの2月定例会におきまして御承認いただいております児童健全育成対策費、児童虐待防止等対策費、母子福祉等対策費につきまして、計

画に関する諸条件から今年度に繰り越したものでございます。

次に、当課の重点事業についてであります。

（1）次世代育成支援対策の推進につきましては、希望出生率1.8をかなえるため、少子化対策をより一層強化し企業や市町村との連携を強め、結婚、妊娠、出産、子育てまでの一貫した切れ目のない支援を実施するとともに、子ども・子育て支援新制度の円滑な実施に向け、待機児童解消に向けた保育士確保や認定こども園等の整備、新・放課後子ども総合プランの着実な推進など、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上に努めてまいります。

また、複雑化する児童虐待問題に対応するため、こども女性相談センター職員の専門性向上を図り体制を強化するとともに広報、啓発事業を実施するほか、関係機関相互の連携強化により虐待事案の解消に当たります。

さらに、ひとり親家庭の自立に向けた幅広い施策を総合的に推進するなど、貧困の連鎖を防いでまいります。

（2）青少年対策の推進につきましては、とくしま青少年プラン2017に基づき、全ての青少年が自立・活躍できる「とくしま」の実現に向け、社会生活に困難を抱える青少年の連携支援や非行防止に向けた環境づくり等、県民総ぐるみによる青少年育成を推進してまいります。

38ページをお開きください。

中央こども女性相談センターの組織図でございます。

中央こども女性相談センターは、総務・保護担当，児童相談担当，判定治療担当及び女性支援担当で構成されており，職員総数は兼務職員も含めまして39名でございます。

次に、事務分掌についてでございますが、39ページに記載のとおりでございます。

42ページをお開きください。

徳島学院の組織図でございます。

徳島学院は、総務担当，支援担当で構成されており，職員総数は兼務職員も含めまして23名でございます。

次に、事務分掌についてでございますが、43ページに記載のとおりでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

加藤県民文化課長

県民文化課の所管事務につきまして、お手元の委員会説明資料に基づきまして御説明申し上げます。

資料の46ページをお開きください。

県民文化課の組織図でございます。

県民文化課は、文化振興担当，文化創造担当で構成されており，職員数は派遣職員を含めまして11名でございます。

当課の事務分掌についてでございますが、47ページに記載のとおりでございます。

48ページをお開きください。

令和2年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は5億8,485万7,000円で、前年度当初予算額に比べ4,706万円、7.4パーセントの減となっております。

当課の重点事業についてであります。

東京2020オリンピック・パラリンピックや2025年の大阪・関西万博を絶好の機会と捉え、あわ文化4大モチーフやあわ三大音楽を中心に、あわ文化の魅力を国内外に発信するとともに、2度の国民文化祭の成果を継承、発展させるため、県民が主役となる文化活動を積極的に推進し、次世代・後継者育成や地域活力の向上を図ってまいります。また、引き続き本県の文化活動の拠点であるあわぎんホール、文学書道館及び阿波十郎兵衛屋敷の魅力ある管理運営を行ってまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

多田文化資源活用課長

文化資源活用課の所管事務につきまして、お手元の委員会説明資料に基づきまして御説明申し上げます。

資料の52ページをお開きください。

文化資源活用課の組織図でございます。

文化資源活用課は、文化財担当、埋蔵文化財担当で構成されており、職員数は派遣職員を含めまして22名でございます。

当課の事務分掌についてであります。53ページに記載のとおりでございます。

54ページをお開きください。

令和2年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は4億2,104万円で、前年度当初予算額に比べ9,290万8,000円、18.1パーセントの減となっております。

当課の重点事業でございます。

文化財の保護、保存を推進し、地域の新たな観光資源として徳島の魅力発信を図るため、地域の特色を示す様々な文化財の保存措置や改善などを実施してまいります。

また、四国八十八箇所霊場と遍路道及び鳴門の渦潮の世界遺産登録や板東俘虜収容所関係資料のユネスコ世界の記憶登録を目指した施策を展開してまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

東條文化の森振興センター副所長

文化の森振興センターの所管事務につきまして、お手元の委員会説明資料に基づきまして御説明申し上げます。

資料の58ページをお開きください。

組織図でございますが、文化の森振興センターの職員数は兼務職員を含め12名でございます。

次に、図書館は、企画振興担当、調査相談担当及び資料・児童担当で構成されており、職員数は22名でございます。

博物館は、企画担当、自然担当及び人文担当で構成されており、職員数は兼務職員を含めまして19名でございます。

資料の60ページをお開きください。

近代美術館は学芸交流担当で構成されており、職員数は兼務職員を含めまして12名でございます。

文書館は公文書・古文書担当で構成されており、職員数は兼務職員を含めまして5名でございます。

二十一世紀館は企画広報担当、総務担当で構成されており、職員数は兼務職員を含めまして12名でございます。

鳥居龍蔵記念博物館は学芸担当で構成されており、職員数は兼務職員を含めまして9名でございます。

62ページをお開きください。

当センターの事務分掌については、記載のとおりでございます。

63ページを御覧ください。

令和2年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は14億2,388万9,000円で、前年度当初予算額に比べ6億8,769万1,000円、93.4パーセントの増となっております。

64ページをお開きください。

継続費の状況でございますが、県立博物館新常設展構築事業に係る3か年の継続費でございます。

当センターの重点事業でございます。

文化の森総合公園が開園30周年を迎えるに当たり、ドイツ・ニーダーザクセン州友好展覧会をはじめとする種々の記念事業を開催するなど、魅力ある企画展やイベントを実施してまいります。また、新未来型展示へと再構築を行う県立博物館新常設展のグランドオープンに向け、展示製作を行うとともに、見所を積極的にPRするプレビュー展や移動展を実施してまいります。さらに、本県の古環境、古生物の実態解明とそれによる地域活性化を促進するため、日本最古級恐竜化石含有層の発掘調査や魅力発信事業を実施してまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

松本スポーツ振興課長

スポーツ振興課の所管事務につきまして、お手元の委員会説明資料に基づきまして、御説明申し上げます。

資料の66ページをお開きください。

スポーツ振興課の組織図でございます。

スポーツ振興課は、企画・生涯スポーツ担当、競技力向上担当で構成されており、職員数は派遣職員も含めまして14名でございます。

当課の事務分掌についてであります。67ページに記載のとおりでございます。

68ページをお開きください。

令和2年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は8億247万5,000円で、前年度当初予算額に比べ1億3,301万9,000円、14.2パーセントの減となっております。

当課の重点事業でございます。

子供の体力向上や高齢者の健康増進の機会を創出するため、総合型地域スポーツクラブ等を活用した健康づくりと地域の活性化を進めるとともに、国際スポーツ大会等への出場選手輩出や国体の順位向上など競技力向上に向けた取組を行ってまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

秋山国際スポーツ大会課長

国際スポーツ大会課の所管事務につきまして、お手元の委員会説明資料に基づきまして御説明申し上げます。

資料の72ページをお開きください。

国際スポーツ大会課の組織図でございます。

国際スポーツ大会課は、スポーツ交流担当、ワールドマスターズゲームズ担当で構成されており、職員数は兼務職員等も含めまして20名でございます。

当課の事務分掌についてであります。73ページに記載のとおりでございます。

74ページをお開きください。

令和2年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は10億1,056万4,000円で、前年度当初予算額に比べ5,109万9,000円、5.3パーセントの増となっております。

75ページを御覧ください。

債務負担行為の状況でございますが、カヌースラロームコースの設営撤去に係る工事請負契約の債務負担行為でございます。

当課の重点事業でございます。

東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプやワールドマスターズゲームズ2021関西の開催について準備を進め、国際スポーツ大会を通じたレガシーの創出、継承を図ってまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

板東未来創生文化部長

未来創生文化部の所管事務の説明につきましては、以上でございます。

続きまして、お手元にお配りしております総務委員会説明資料及び説明資料（その2）によりまして、6月定例会に提出を予定しております未来創生文化部の案件につきまして御説明を申し上げます。

はじめに、令和2年度一般会計補正予算案のうち、新型コロナウイルス感染症対策につきまして、総務委員会説明資料によりまして御説明申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や実施が困難な予算を見直すとともに、

とくしまスマートライフ宣言の実施を応援し、新しい生活様式を取り入れた感染症に強いとくしまづくりを早急に推進するため先議をお願いするものでございます。

それでは、お手元にお配りしております説明資料の1ページをお開きください。

一般会計の歳入歳出予算についてでございます。

補正総額につきましては、総括表一番下の計欄の左から3列目に記載のとおり6億5,301万5,000円の減額をお願いいたしておりまして、補正後の予算総額はその右の欄のとおり176億1,641万9,000円となっております。

補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりでございます。

次に課別主要事項につきまして、御説明申し上げます。

2ページをお開きください。

未来創生政策課関係でございます。

イベント等の事業の見直しにより、95万7,000円の減額をお願いしており、未来創生政策課の補正後の予算総額は25億5,438万4,000円となります。

3ページを御覧ください。

ダイバーシティ推進課関係でございます。

目名、障がい者福祉費の摘要欄①、アのうちでパラスポ・どこでもアート促進事業では、障がい者のスポーツや芸術活動を継続させるため、オンラインによる活動を促進する経費として300万円を計上しております。

目名、老人福祉費の摘要欄①、アのオンラインユニバーサルカフェ創出モデル事業では、新しい生活様式に対応した地域がつながりを保ち、支え合う環境を創出するため、オンラインシステムを使ったユニバーサルカフェを構築する経費として400万円を計上しております。

ダイバーシティ推進課合計では、イベント等の事業見直しを含め1,348万円の減額をお願いしており、ダイバーシティ推進課の補正後の予算総額は4億3,963万5,000円となります。

4ページをお開きください。

男女参画・人権課関係でございます。

目名、婦人保護費の摘要欄①、アのDV相談体制強化事業では、感染症の長期化を見据えたDVの増加、深刻化に対応するため、新たな相談体制を構築する経費として500万円を、同じく、イのDV被害者セーフティネット強化支援パイロット事業では、地域におけるDV被害者支援の充実強化を図るため、民間シェルターにおける先進的な取組を支援する経費として531万2,000円をそれぞれ計上しております。

男女参画・人権課合計ではイベント等の事業見直しを含め192万8,000円の減額をお願いしており、男女参画・人権課の補正後の予算総額は7億3,092万1,000円となります。

5ページを御覧ください。

次世代育成・青少年課関係でございます。

目名、児童福祉総務費の摘要欄②、アの児童養護施設等の学習支援のための環境改善事業では、児童養護施設等における学習生活環境の向上を図るため、Wi-Fi環境やタブレット端末の整備、感染防止に配慮した個室化を支援する経費として9,000万円を、同じく、イの児童養護施設等体制強化事業では、児童指導員等の負担軽減や将来的に児童指導

員等となる人材の確保を図るため、児童養護施設等における児童指導員等の補助者の雇用を支援する経費として1,533万2,000円をそれぞれ計上しております。

また、摘要欄③，アの子育て世帯つながり支援事業では、外出自粛による子育て世帯のつながりの希薄化や子育ての不安を解消するため、オンラインによる相談やコミュニケーションを図る新しい生活様式に対応した子育て支援サービスを普及、啓発する経費として、500万円を計上しております。

目名，母子福祉費の摘要欄①，アのひとり親家庭子育て応援事業では、困窮するひとり親家庭を応援するため、県内の給食食材納入業者や農協等から購入した食品の無償配付やSNSを活用した寄り添い相談を実施する経費として8,000万円を計上しております。

次世代育成・青少年課合計では、イベント等の事業見直しを含め1億7,860万6,000円の増額をお願いしており、次世代育成・青少年課の補正後の予算総額は104億3,571万円となります。

6ページをお開きください。

県民文化課関係でございます。

イベント等の事業見直しにより2,150万円の減額をお願いしており、県民文化課の補正後の予算総額は5億7,835万7,000円となります。

7ページを御覧ください。

文化資源活用課関係でございます。

イベント等の事業見直しにより1,042万3,000円の減額をお願いしており、文化資源活用課の補正後の予算総額は4億1,061万7,000円となります。

8ページをお開きください。

文化の森振興センター関係でございます。

イベント等の事業見直しにより1,308万4,000円の減額をお願いしており、文化の森振興センターの補正後の予算総額は14億2,400万5,000円となります。

9ページを御覧ください。

スポーツ振興課関係でございます。

目名，体育振興費の摘要欄①，アの総合型地域スポーツクラブ活動再開支援事業では、活動の休止を余儀なくされた総合型地域スポーツクラブの活動再開を後押しするため、感染防止対策モデルの実践やオンライン教室の環境整備を推進する経費として400万円を計上しております。

スポーツ振興課合計ではイベント等の事業見直しを含め、377万3,000円の減額をお願いしており、スポーツ振興課の補正後の予算総額は7億9,870万2,000円となります。

10ページをお開きください。

国際スポーツ大会課関係でございます。

東京2020オリンピック・パラリンピックの延期に伴う事前キャンプ中止等により、7億6,647万6,000円の減額をお願いしており、国際スポーツ大会課の補正後の予算総額は2億4,408万8,000円となります。

続きまして、新型コロナウイルス感染症対策以外の補正予算等について御説明申し上げます。

総務委員会説明資料（その2）を御覧ください。

令和2年度一般会計補正予算案並びにその他の議案等といたしまして、条例案、令和元年度継続費繰越計算書及び令和元年度繰越明許費繰越計算書でございます。

説明資料の1ページをお開きください。

一般会計の歳入歳出予算についてでございます。

補正総額につきましては、総括表一番下の計欄の左から3列目に記載のとおり2億5,696万8,000円の増額をお願いいたしてございまして、補正後の予算総額はその右の欄のとおり178億7,338万7,000円となっております。補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりでございます。

次に、課別主要事項につきまして御説明申し上げます。

2ページをお開きください。

次世代育成・青少年課関係でございます。

目名、児童福祉総務費の摘要欄①、アの安心こども基金積立金では、幼児教育・保育無償化を円滑に実施するため、事務費やシステム改修経費に充当する基金を積み増す経費として2億4,696万8,000円を計上いたしてございます。

次世代育成・青少年課の補正後の予算総額は106億8,267万8,000円となります。

3ページを御覧ください。

スポーツ振興課関係でございます。

目名、体育振興費の摘要欄①、アの運動・スポーツ習慣化促進事業では、外出自粛により運動不足への懸念が生じているため、運動処方箋の活用や地元メディアとの連携による運動、スポーツのきっかけづくりを促進する経費として1,000万円を計上してございます。

スポーツ振興課の補正後の予算総額は8億870万2,000円となります。

4ページをお開きください。

その他の議案等につきまして、3点御説明いたします。

1点目は、条例案についてでございますが、今議会におきまして2件の条例改正案を提出することとしてございます。

まず、アの徳島県控除対象特定非営利活動法人の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

特定非営利活動促進法施行令の一部が改正されたことに鑑み、控除対象特定非営利活動法人の指定の基準となる寄附者の寄附金の額の要件を改める必要があることから改正を行うものでございます。施行期日につきましては、公布の日としてございます。

次に、イの徳島県安心こども基金条例の一部を改正する条例につきましては、国において基金事業の実施期限が令和5年度末までとされたことに伴い、子供を安心して育てることができる環境を整備する事業を引き続き推進するため、基金の設置期間を延長するものでございます。施行期日につきましては、公布の日としてございます。

5ページを御覧ください。

2点目は、令和元年度継続費繰越計算書でございます。

県立博物館新常設展構築事業につきましては、継続費により事業を進めておりますが、令和元年度継続費予算現額の計欄400万円に対し、その三つ右の欄に記載のとおり4万円が翌年度繰越となったものでございます。

6ページをお開きください。

3点目は、令和元年度繰越明許費繰越計算書でございます。

去る2月定例会で御承認いただきました繰越明許費につきましては、その後の事業進捗に努めました結果、表の左から4番目、翌年度繰越額欄の最下段に記載のとおり2,386万8,000円に確定いたしました。その内訳といたしまして課名と事業名を記載しております。これらの事業につきましては、早期完了に向けて努力してまいりますので御理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上が、今定例会に提出を予定いたしております案件でございます。

続きまして、この際、3点、御報告させていただきます。

お手元にお配りの資料1を御覧ください。

「共生社会ホストタウン」の登録についてでございます。

去る5月29日に内閣官房東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会推進本部において、本県及び鳴門市がジョージアの共生社会ホストタウンとして登録されました。

今後とも、市町村や関係機関と連携し、誰もが支え合いながら、生き生きと暮らせる共生社会の実現に向け全力で取り組むとともに、来年度開催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け機運を醸成してまいります。

次に、資料2を御覧ください。

徳島県立男女共同参画交流センターにおけるネーミング・ライツ制度パートナー企業の決定についてでございます。

2月定例会の当委員会で御報告しておりましたとおり、徳島県立男女共同参画交流センターにおけるネーミング・ライツ制度のパートナー企業を募集いたしました結果、去る4月24日に開催した選考委員会による審査を経て、前回と同じ株式会社ときわをパートナー企業に決定したところでございます。

ネーミング・ライツの期間につきましては、令和2年6月1日から5年間、金額は5年間の合計で1,000万円でございます。

愛称につきましては、前回と同じときわプラザ、ブライダルコアときわホールに決定いたしております。

次に、資料3を御覧ください。

保育所等入所待機児童数（速報値）についてでございます。

本年4月1日現在の本県における待機児童数は、昨年と比べて12人減の61人となっております。市町村ごとの内訳は、記載のとおりでございます。

県におきましては、引き続き、保育所等の整備による受皿の拡大を図りますとともに、保育士確保の取組を強化し、1日も早い待機児童解消に向け取り組んでまいります。

報告事項は以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

浪越委員長

以上で、説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、未来創生文化部関係の調査を終わります。

次に、当委員会の県外視察についてでございますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度については中止することといたしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

これをもって、総務委員会を閉会いたします。（15時44分）